平成 30 年度 物理学実験 (二)

プランク定数

実験日: 平成 30 年 5 月 28 日

1217054 佐久間寛伸

目次

1 目的 2

1 目的

プランク定数測定器により、ハロゲン灯の光を分光し、振動数が知られているいくつかの単色光と Sb-Cs 光電管とを用いて光電効果 (photo-electric effect) の実験を行なう. それらの結果から、光が 粒子性を示すことを理解し、さらにプランク定数 (Planck constant)h を求める